

ウソをつくな！ ごまかすな！ 美浜3号炉事故 関電の報告書

私たちは、原発の経済性を最優先させたために起こった事故について、関電の責任を徹底して追及していきます。

私たちは、3月14日に、関電に対して改めて公開質問書を送りました。

みなさんと共に関電交渉を行いたいと思います。ぜひ、ご参加下さい。

==== 関電交渉 =====

日時 4月5日(火)午後6時から(予定)

場所 関西電力 本社

(参加される方は、久保までご連絡下さい。0729-39-5660)

====

関電の報告書は原因究明されていません

美浜3号炉事故の関電報告書が、3月1日に
出ました。

2月9日の関電との交渉では、私たちの質問に「関電として正式回答できません。」年度末の報告書が出てからにして下さい」と、関電広報部は私たちにお願ひしました。「そのかわり報告書が出たら、若狭ネット宛に必ず1部送らせて頂きますので」と、丁寧な対応をしていました。

しかし、4日経っても、報告書は送ってきません。これが、関電の本当の姿なのでしょう。そのときそのとき、うまく言い逃れたらいいんだ

という体質なのでしょうね。

私たちは、ホームページから急いで報告書を手に入れました。

今まで関電は、「この事故が起こるまで、配管の減肉状態を全く知らなかった」と言い張っていました。しかし、それは、全くのウソであったことが判明しました。

関電の報告書には、この事故が起こる前の7月に大飯1号で深刻な減肉が起こり、急ぎよ美浜原発も点検リストをチェックするように指示したと書かれており、美浜3号事故が起こった箇所も「**未点検部位として抽出した**」と書いてありました。そして、「**8月の定期検査で点検する計画であったことを確認した**」とありました。

このことから明らかにわかることは、事故が

起こる直前に、関電は美浜3号に減肉のひどく進む箇所が未点検であること、この箇所で危険なレベルにまで減肉が進んでいるかもしれないことを知っていたということです。ということは、**関電は、緊急に会議を開いて対策を検討し、運転をすぐ止めて点検するようなことは行わず、次の定期検査までもう少し運転を継続することを決めた**」に違いありません。

関電は、亡くなられた作業員の方々の遺族や治療中の人たちに、一体どのように謝るのでしょうか。私たちは、人の命や健康より原発の経済性を最優先させたために起こした事故について、関電の責任を徹底して追及していきます。

私たちは、3月14日に、関電に対し改めて公開質問状を送りました。点検の漏れが見つかったあと1年4ヶ月の間、どうして放置され続けてきたのか、どうして破断事故を防ぐことができなかったのか、事故原因の核心部分の究明がなされていません。このようなずさん極まりない無責任な報告書を撤回して調査をやり直すように要求していきます。それまでは、少なくとも、今運転中の原発を止めるべきです。

みなさんと共に4月5日に関電交渉を行います。ぜひ、ご参加下さい。

関電だけでなく、県、国の責任を追及しよう

若狭ネットは、3月14日、関西電力に「公開質問状」を送ると同時に、福井県知事には「申し入れ」を提出しました。福井県知事から関西電力に対し、調査をやり直し、県民にきちんと説明させるよう求めました。

また同じく、経済産業大臣、原子力安全保安院長に対し、関西電力に対して事故原因の徹底的な究明と、品質マネジメントシステムがずさん極まりない状態に陥った根本原因を明らかにさせること、公開説明会を開くことを要

求しました。また、関西電力の報告をこれまで鵜呑みにしてきたことの反省と同じことを繰り返さないための安全規制の具体的な再発防止策を求めました。

これからも古くなった原発をむりやみ動かすことに躍起となっているのが関西電力です。それを容認し、規制を緩和してきた経済産業省や原子力安全保安院の責任を追及していかなければなりません。

短い周期の地震動が最近頻発している・・・

私たちはこれまで、原発は短い周期の地震動(ビビリ振動)に非常に弱いことを暴いてきました。このビビリ振動の極めて強い地震が最近頻発しているのです。

新潟県中越地震がそれでした。しかし、これと同じような短い周期の強い地震動が、2年前の7月に宮城県北部の地震でも観測されていたのです。いずれも、地表に明瞭な活断層が見られない伏在断層による地震であり、日本のどこで起きても不思議でないマグニチュード7以下の中規模の地震です。

このような地震が原発の直下で起きれば、予想を遙かに超えた短周期の地震動(ビビリ振動)が原発を襲い、原発が破壊される危険が大きいのです。

浜岡原発で補強工事をするというが

ここ数年のうちに東海地震が起こる確率が高いと言われる真上に建つ浜岡原発で、中部電力は、さらに補強工事をするとう発表しました。しかし、このような補強工事をして、新潟県中越地震のような極めて強い短周期地震動(ビビリ振動)が起これば耐えられないのです。

地震列島のこの国に、原発を建てることは、間違っています。一日も早く原発を止めていかなければなりません。

今後の予定

3月21日(祝) 午後1時半から

チェルノブイリ原発事故被災地からの報告
ベラルーシのお医者さんのお話

場所 ヒューマインド

(JR環状線 芦原橋 駅下車 徒歩7分)

連絡先 ふいつ 0798-44-2614



4月2日(土) 午後2時半から

3日(日) 午前10時から

ダイオキシン問題全国交流集会

場所 大阪市立港区民センター (JR環状線 弁天町 駅 下車7分)

連絡先 止めよう! ダイオキシン汚染 関西ネットワーク 山崎 06-6336-4154

4月5日(火) 午後6時から

「美浜3号炉事故について」 関電交渉 (予定)

場所 関西電力本社 地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車5分

連絡先 若狭ネット 久保 0729-39-5660

4月17日(日) 午後2時から

イラクに平和を! ウラン兵器禁止を!

- NPT再検討会議に向けて -

場所 ヒューマインド (JR環状線 芦原橋 駅下車 徒歩7分)

連絡先 ヒバク反対キャンペーン ふいつ 0798-44-2614

4月24日(日) 午後1時半から 4時半

チェルノブイリ原発事故 19年の集い

場所 大阪市立総合生涯学習センター (梅田第2ビル6階 第2研修室)

連絡先 チェルノブイリヒバクシャ救援関西 ふいつ 0798-44-2614

編集後記

- ・ 2月末、プルトニウム・アクション・ヒロシマの大庭里美さんが、3月はじめ、反核詩人栗原貞子さんと相次いで亡くなりました。大庭さんとの出会いは広島で開かれた「原子力産業会議」で原発反対のプラカードを持って平和公園の入口で座り込んだときでした。流ちょうな英語で外国の人たちと議論されていたことを思い出しております。栗原さんの詩集はどれを読んでも魂が揺さぶられるすばらしい作品です。二人の死を悼みながら、反核、反原発の強い意志を引き継ぎ頑張らねばと思います。 きよ子